

DATE 2011. 12. 12

立命館大学校友会事務局  
事務局長 縄本 敏 様

立命館大学岩手県校友会  
会長 菊 池 宏

### 第二次義援金に対する御礼

例年より一層多忙な日々をお過ごしのこととお察しいたします。

過日はお忙しい中、岩手県まで第二次義援金を持参していただき、本当にありがとうございました。

2079名の校友の方々と140の校友団体・サークルの方々からの1億5千万円の義援金100万円に改めて感謝と御礼を申し上げます。

寒さが一段と厳しい中、被災地の仮設住宅やアパートや改修が進まない自宅で苦勞されている校友に一日も早く義援金を届けたらと思ひ、早速役員会を開催し、被災状況に応じて配分額を決定し、12月12日郵送いたしました。

本当は第一次義援金と同様に被災された校友の方々に直接お会いして近況を伺いながら励ましたかったのですが、諸般の事情で郵送しました。被災された校友の方々には年末の出費のかさむの時期に全国の校友の方々からの1億5千万円の義援金をただけにと感謝・感激して復興への励みにしてくれと確信しています。

さる11月23日に陸前高田市で沿岸地区校友会を開催しましたが、本部から古石、北川さんに出席していただき、11名の参加でしたが初めての方も2名参加され、又震災で亡くなった伊藤幸則さん(856 経済)の奥様(美江子さん)も出席していただき、民生委員として隣人を救助するために亡くなった幸則さんのことや、美江さんが開いている書道教室の生徒に、第一次義援金と一緒に寄贈した大谷康子さん(本校政策科学科卒)の「星の王女さま」の一節を引用した作品を岩手県高等学校文化祭書道展に出品させ、みごと優秀賞を受賞し、大谷康子さんからの激励の電話に元気といただいたと語られており、7月にお会いした時には悲しみ泣いて帰っていましたので、校友の方々の義援金と大谷さんの励まして、元気を出して復興に向けて前進すると思っております。大学では県内でいろいろな支援事業を展開しており、被災地の人々に元気と勇気を与えてくださることに、校友として誇りに思い、感謝いたします。

最後にいたしますが、全国の校友の方々からの温かい義援金とメッセージが被災した校友の方々に、寒い冬を乗り越えるエネルギーを与えてくださっていること確信し、感謝と御礼をいたします。本当にありがとうございました。